

# 十五の君へ



3月9日、市内中学校で卒業式が執り行われました。希望を胸に、446人が新たな一歩を踏み出しました。

令和4年度の卒業生は、中学校3年間をコロナ禍で過ごしました。中学校の入学式を約1カ月後に控えた令和2年2月末、政府は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、全国の小中学校や高等学校などに臨時休校を要請しました。厳しい制限の中で入学式こそ行われましたが、子どもたちは約2カ月間、学校に行くことができませんでした。その後も、幾度となく緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが発出され、学校行事は

中止や縮小を余儀なくされました。多くの不安や悔しさを経験し、思い描いた中学校生活を送ることができなかった子どもたち。しかし、厳しい環境下でも、たくさんのことを学び、今できることは何かと考えることをやめませんでした。これまで先輩や地域の方が続けてきたものを次の世代につなげたいと、内容を工夫したり、新たな活動を始めたりして、模索を続けました。

数えきれないほどの苦難を乗り越えてきた子どもたちが、次の道を歩み出しました。緊張が残る状況がまだ続きますが、15歳の皆さんがこの先幸せなことを願います。



# 施政方針

令和5年度は、第2次総合計画後期基本計画の3年目を迎えます。計画を着実に進めるとともに、ゼロカーボンシティ事業の推進やSDGs未来都市の実現に向けて、引き続き「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4本の柱で取り組んでまいります。

## 経済発展と自然との共存

「はたらく」では、「ゼロカーボンシティ」を実現するため、エネルギー使用量と温室効果ガスの削減に取り組み事業所に対して、省エネ設備及び機器の導入を支援してまいります。アフターコロナにおける旅行帰帰を見据えた取り組みとして、市内宿泊施設で利用できるプレミアム付きの「恵那泊チケット」を販売し、観光誘客を図ってまいります。

働く場を創出するため、企業や本社機能の誘致に積極的に取り組んでまいります。また、市内企業説明会などの開催や、企業情報、求人情報の発信を強化し、市内就職率の向上を図ってまいります。恵那西工業団地は、2社との売買契約を締結いたしました。残る1区画も、引き続き誘致を行ってまいります。

ります。

野生動物による農作物の被害を軽減するため、野生動物と人とをすみ分ける、バッファゾーンの整備に伴う経費の補助を行ってまいります。

## 恵那の食の魅力を広げる

「たべる」では、食を通じて市民の健康増進を図るため、発酵文化の伝承、市内農産物を使用した発酵食品の開発などを行ってまいります。また、「全国発酵食品サミットinえな」を開催し、市内の発酵文化や発酵食品を全国に発信してまいります。

恵那の食文化である栗菓子と五平餅の認知度向上と、事業所の販路拡大を図るため、イベントのPRを支援してまいります。

地産地消を促進するため、市が定めた基準に適合した農産物や加工品を認証する「ふうど認証」制度を構築し、認知度を向上させることで消費の拡大へとつなげてまいります。

## 安心して暮らしやすい

「くらす」では、昨年3月に宣言した「ゼロカーボンシティえな」の取り

組みを着実に推進するため、電気的環境価値のクレジット化に取り組みとともに、住宅のシステム設置費用に対する支援を行ってまいります。

子育て世帯の負担軽減のため、18歳までの子ども1人につき1万2千円分の子育て支援商品券を配布してまいります。また、中学校卒業後も安心して適正な医療を受けられるよう、高校生世代の医療費無償化を引き続き実施してまいります。

プレミアム付商品券の発行は、コロナ禍で物価高騰の影響を受ける家庭への支援を強化するため、電子商品券のプレミアム率を3割とするなど、規模を拡大して実施してまいります。

誰もが利用しやすい移動サービスを整備するため、バス路線の再編を行うとともに、バス運賃を統一し、利便性の向上を図ってまいります。

リニア中央新幹線は、昨年6月に長島トンネル新設工事の安全祈願式が行われ、本格的な工事が始まりました。10月に恵那工区が着工した国道19号瑞浪恵那道路とともに、未来のまちづくりのための基盤整備を着実に推進してまいります。

## 誰もが学べる環境を

「まなぶ」では、誰もが質の高い教育が受けられる環境を整えるため、教育・発達支援センターを設置し、支援を必要とする児童等への相談体制の充実を図るとともに、新たな学びや交流の場として「恵那未来キャンパス」を整備し、恵那市の将来を担う人材の育成に取り組んでまいります。

デジタル時代を生き抜く人材の育成を目指し、プログラミング教育などによる子どもたちへの新たな学びの支援や、ICT教育推進のための研究や活用方法の検討、学校現場へのきめ細かなサポートを実施するため、「ICT教育らほ」を新設し、GIGAスクール構想を推進してまいります。

子ども園の施設整備を計画的に進めるため、建設から20年以上経過している子ども園の大規模改修工事を行うとともに、医療的ケアが必要な園児の安全対策として、やまびこ子ども園の増築工事を行い、子どもたちが安心・安全に過ごせる保育環境を確保してまいります。

(令和5年第2回市議会定例会小坂市長の施政方針より)

恵那市長 小坂 喬峰

# 令和5年度 市の予算

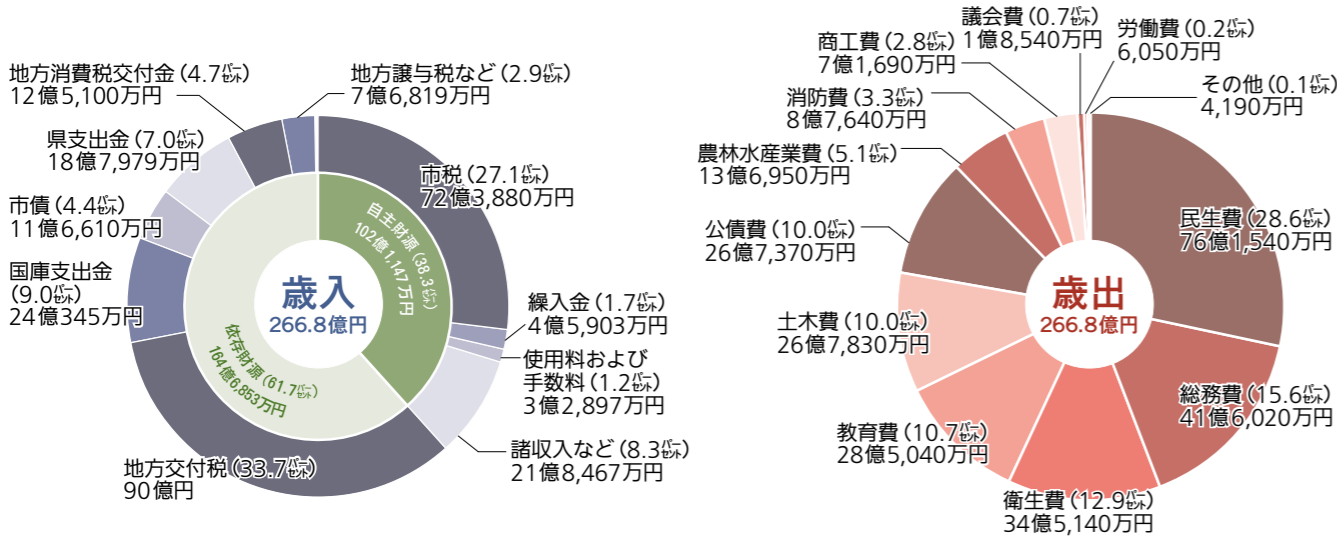


詳しくは市ウェブサイトをご覧ください

令和5年度は、社会経済活動が正常化しつつある中、原油・物価高騰による厳しい状況に対応するとともに、第2次総合計画後期基本計画を着実に実施するための予算を確保しました。子育て環境の充実に加え、リニア開通に向けたまちづくり事業の推進など、市民の誰もが、住み慣れた地域で年齢や性別に関わりなく元気に働き続け、安心して住み続けることができるまちを目指した予算を編成しました。

予算規模は、一般会計で266億8,000万円（前年度比3億8,000万円増、1.4%増）、特別会計で125億2,200万円（同比9,700万円増、0.8%増）、企業会計で90億6,060万円（同比3億480万円減、3.3%減）で、全会計で482億6,260万円（同比1億7,220万円増、0.4%増）となりました。 図 財務課 ☎26-2111（内線335）

## 一般会計の内訳



## 予算総額

会計別	予算額	増減率	会計別	予算額	増減率
一般会計	266億8,000万円	1.4%	水道事業会計	収益的支出 17億4,500万円	4.6%
特別会計			水道事業会計	資本的支出 11億740万円	△21.6%
			下水道事業会計	収益的支出 19億9,060万円	6.0%
			下水道事業会計	資本的支出 9億6,020万円	△13.6%
			病院事業会計	収益的支出 17億9,120万円	△4.7%
			病院事業会計	資本的支出 8億3,670万円	12.9%
			国民健康保険診療所事業会計	収益的支出 5億4,680万円	0.9%
			国民健康保険診療所事業会計	資本的支出 8,270万円	△38.6%
合計	125億2,200万円	0.8%	合計	90億6,060万円	△3.3%
<b>合計 482億6,260万円 (前年比0.4%増加)</b>					

くらす



新規 子育て支援商品券事業 <8,700万円

物価高騰による子育て費用の負担を軽減

新規 リアフリートイレ改修事業 <653万円

誰もが使いやすいように、福祉避難所のトイレを整備

拡充 移住・定住推進事業 <1億2,965万円

人口減少の抑制、安心して住み続けられる地域づくり



# 令和5年度 主な事業を紹介

令和5年度は、第2次総合計画後期基本計画の3年目の年です。「人・地域・自然が輝く交流都市 ～誇り・愛着を持ち住み続けるまち～」をテーマに、さまざまな事業を行います。ここでは、「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の四つの視点から、主な事業や新規事業の一部を紹介します。



まなぶ



改修するやまびこ子ども園



SDGs推進室 鈴木由佳

## 令和5年度 主要事業



はたらく



観光交流課 高木沙織



昨年4月にオープンした保古グランピング

新規 省エネルギー設備導入支援事業 <500万円

省エネ設備を導入する事業所を支援

新規 キャッシュレス決済端末導入促進事業 <250万円

キャッシュレス決済端末を導入する事業所を支援

新規 恵那泊キャンペーン事業 <2,000万円

市内宿泊施設で利用できるプレミアム付きチケットを販売

さらに…



ラリーまちづくり課 西尾 涉



岩村町本通りを走るラリーカー

新規 市役所 ICTインフラ整備事業 <9,802万円

質の高いサービスを提供するため、オフィス環境を整備

継続 ラリーを活かしたまちづくり推進事業 <4億8,885万円

ラリーを通じた交流人口の拡大や地域の活性化



みのじのみり祭の五平ロード

新規 栗フェス・五平餅フェス開催事業 <各200万円

恵那の食を味わう「たべるイベント」開催支援

新規 全国発酵食品サミット in えな <1,100万円

発酵食や文化に触れる全国大会を開催

新規 恵那ふうど認証事業 <300万円

市独自の認証制度で地産地消を推奨

たべる



農政課 堀 康仁